証拠

大河内健詞

［配役］
刑事
女１（高慢な女）
男１（中年男）
男２（犯人・中野）
女２（素直な女）

刑事　皆様、お集り頂きありがとうございます。
女１　ったく、何なのよいきなり。
刑事　この中に、山田さんを殺害した犯人がいます。
男１　えっ！？
女２　この中に犯人が？
刑事　犯人は、、、●●さん。あなたです。
男２　え？
刑事　セブンイレブン店長の山田さんが亡くなって、一番得をしたのは、サンクス店長の●●さんです。
男２　（笑って）ちょっと待て、いくらなんでも短絡的だろ。証拠を出せ、証拠を。
刑事　証拠は、、、指紋です！
女１　・・・し、指紋ですって！？
男１　指紋が、証拠だと！？
刑事　そうです。ご存知ですか？指紋は、一人一人違うんです。
女２　だから指紋が証拠に！？
刑事　そうです！揺るぎない物的証拠、それが・・・
女１　指紋ね！
男１　指紋か、見れば見るほど複雑だなあ。
刑事　その複雑さゆえ、動かぬ証拠となる、それが・・・
女１　指紋ね！
刑事　その通り。全ての人間には異なる指紋があるんです。
女２　私の指紋は、みんなの指紋と違うのね？
男１　指紋、ワンダフル。
刑事　驚きましたか？最も確実な証拠、それが・・・
女１・２　指紋ね！　・・・(顔を見合わせる）ふふっ。
男１　指紋てすごいんだなあ。
女２　指紋のこと、ちょっと好きになったかも。

女１　指紋、恐ろしい子！
刑事　そう！その指紋が証拠なんです！
男２　なんなんだよ！！　指紋指紋うるせえよ！　結局、指紋がどうしたんだよ！！
刑事　現場から、指紋が発見されました！
女１　げ、現場に、指紋ですって！？
男１　どういうことだ、現場に指紋だと！？
女２　私の好きな指紋が、どうして現場に？
刑事　犯人は現場に指紋を残したのです！
女１　まさか、残された指紋が、
男１　証拠だ！　指紋が！
女２　指紋なら、一人一人違うわ！
刑事　そうです！　発見された指紋が証拠です！
男２　話が進んでないよ！　指紋がどうしだんだ、はっきり言えよ！
刑事　（通る声で）しもん！
男２　そういうはっきりじゃねえよ！
女１　黙って！　指紋のささやきが聞こえないの？
男２　聞こえねえよ！
男１　指紋、ワンダフル。
男２　にかいめ！
刑事　はっはっは！　すっかり話が指紋の方にそれてしまいました。
男２　指紋の話してんだろ！　ふざけてんなら俺は帰るぞ。
刑事　待て、これから本当の指紋の話をしよう。
男２　サンデル教授か！　もういい、どうせ茶番だ。指紋は丁寧に拭き取ったから見つかるはずが・・・あっ！
刑事　中野さん。それは真犯人しか知り得ない事実、いわゆる秘密の暴露です。
男２　しまった、、、
女１　・・・ひ、秘密の暴露ですって！？
男１　やれやれ、今度は、秘密の暴露だとさ！
刑事　指紋が拭き取られていた事は一般には公開されていません。よって、これを知っているのは犯人である証拠となります。これがいわゆる・・・
女１　秘密の暴露ね！
刑事　そうです！　秘密の暴露です！
男１　秘密の暴露。こいつは手強いぞ！
女２　秘密の暴露のこと、ちょっと好きになったかも。
刑事　分かりましたか。疑いようのない決定的な証拠、それが、、、
三人　（男１、女１、女２同時に）秘密の暴露！
男２　さっさと逮捕してくれ！

＜完＞